

初期学習支援とは

対象学年：１年

実施時期：４月

入所直後のオリエンテーションとして、学習手段や学習方法に対する不安の解消を目的に、利用者一人ひとりの特性に合わせたパソコン、デイジー、点字、拡大読書器などの支援を行い、学習手段の確立を図る。また模擬授業や試験体験を行うことで、その後の授業や自学自習で活用できる学習手段を確認する。

恒常的継続支援とは

対象学年：全学年

実施時期：通年

理療教育を学習していく上で必要な支援を、学級担任や科目担当者が中心となり、継続して提供していく。パソコン操作、デイジー機器操作、点字の読み書きなどの学習手段やノート作り、問題集・参考書の活用方法、学習時間の作り方など学習方法や学習環境の相談・支援を随時実施する。

総合学習とは

対象学年：全学年

実施時期：通年

理療教育の学習を進めていく上で必要な、識字能力や語彙力、読解力などの基礎学力の向上を必要とする利用者を対象に実施する。利用者のニーズを踏まえ、教科書または新聞記事等を用いて語彙・漢字の習得、短文および長文の読解記憶力、コミュニケーション技術などの強化を図る。

国試問題の配付と活用とは

対象学年：受験学年（３・５年）

実施時期：４月

受験学年に対して、過去○年間に出题された国家試験を提供し、個別に採点や解説を行い、国家試験の問題形式に慣れること、また、今まで学習してきた知識の確認などに役立てる。

模擬試験とは

対象学年：受験学年（3・5年）

実施時期：5月・11月・12月

受験学年を対象に、国家試験の問題形式に慣れること、実際の試験時間や雰囲気を経験すること、受験時の文字種別や補助具使用の必要性を確認することなどを目的に、国家試験に準じた模擬試験を年3回実施する。また模擬試験結果はその後の受験対策指導の参考資料として活用する。

受験対策補講（個別）とは

対象学年：受験学年（3・5年）

実施時期：6月～1月

受験学年前までの成績、実力試験や第1回の模擬試験の結果を基に、対象者を絞り、国家試験合格に必要な基本的知識の定着を目的とした補講を実施する。実施方法はその年度の対象者の特性により、個別または少人数で実施する。

受験対策直前補講とは

対象学年：受験学年（3・5年）

実施時期：2月

国家試験の受験直前に、最重要項目と頻出項目の最終確認を目的として、対象科目と内容を絞った集団による補講を実施する。

実力試験とは

対象学年：１年・２年・４年

実施時期：２月

当該学年までに学習した科目について、利用者自身が内容の理解や知識の定着を現状把握することで、主体的な学習に取り組むことを目的とした試験を実施する。また、試験結果はそれぞれの利用者に対する学習支援に活用するとともに、今後の受験対策の方向性や体制に役立てる。

再理療教育とは

対象者：前年度の卒業・修了者

実施時期：8月～2月

前年度、当センターを卒業・修了したが、あん摩マッサージ指圧師国家試験に不合格となった方に対して、次年度の国家試験合格に向け、受験科目に絞った特別時間割に基づき受験対策授業を実施する。

再受験者通信指導とは

対象者：卒業・修了者

実施時期：5月～2月

卒業・修了者のうち、国家試験に不合格となり、自宅などで学習をしている方に対し、郵送による国家試験や模擬試験問題の提供・添削、学習相談等を実施する。

進路希望調査とは

対象学年：全学年

実施時期：4月・7～8月

年に1回、その時点での卒業後の進路希望について確認し、利用者の希望に添った支援を実施するための資料とする。卒業学年は4月に、その他の学年は7～8月に実施する。

進路支援講座とは

対象学年：全学年

実施時期：7月・11月

職種と就労の現状を理解することで、卒業後の進路（就労）を具体的にイメージして、主体的に進路選択ができることを目的に、医療に関する職種や就労活動・進学を進め方に関する講座だけでなく、治療院の経営者や企業で働く施術者などを講師として招聘した講座も開催する。

職場見学とは

対象学年：受験学年

実施時期：随時

就労活動に向け、治療院、高齢者施設、ヘルスキーパー導入企業、訪問マッサージ事業所など、利用者が希望する職場を見学することで、具体的な就労先の選択に役立てる。

卒業予定者の就労支援とは

対象学年：受験学年

実施時期：随時

利用者の就労・進学に向けた情報提供や相談対応、履歴書の作成、職場見学の引率、採用面接対策、進学に向けた受験対策支援などを理療指導員が中心となり実施する。

臨床研修コースとは

対象者：前年度の卒業・修了者

実施時期：5月～10月

前年度の卒業・修了者で国家試験に合格した方を対象に、臨床に関する実践的な知識や技術を更に高めることを目的とし、臨床実習を中心としたカリキュラムで構成した研修を実施する。

就労実態調査とは

対象者：卒業・修了者

実施時期：9月

当センターを卒業・修了後、就労した利用者のその後の状況を記録し、今後の就労支援に向けた資料とする。

職場開拓とは

対象者：利用者・卒業・修了

実施時期：通年

利用者や卒業・修了者の新たな職場を開拓することで、利用者の希望に添った就労先の選択枝を増やすことを目指している。

卒後定着支援とは

対象者：卒業・修了者

実施時期：随時

当センターを卒業・修了し就労した方が、就労に伴う就労場面等の課題に対し、就労の継続を図るために、就労先や自宅へ訪問し必要な調整や助言などを行う。

研修会・講座とは

対象者：卒業・修了者

実施時期：10月・11月・3月

卒業・修了生に対して、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうに関する知識や技術の向上を目的とした研修会・講座として、卒後5年以内の方を対象としたもの、高度な臨床技術の習得を目指したもの、特別養護老人ホームやヘルスキーパーなどの特定の職種を対象としたものなど、様々な形式で提供する。